

Project B02	地域協働専攻 地域政策グループ 子どもを対象にした法教育プロジェクト
メンバー	石綿 優江／岡崎 靖也／奥野 大陽／長内 陽菜／木村 紘／齋藤 洸介／ [学 生] 佐々木 綺美／菅原 涼香／高橋 秀弥／滝 優月／細川 萌／山上 心愛／ 渡邊 由依 [担当教員] 伊藤 泰

【背景】

多くの人と接する機会が、グローバル化が進むにつれ増えてきた。良好な交流関係を築き上げるために必要となる様々な法やきまりへの理解を深めると共に、日常で直接触れる機会の少ない日本国憲法について知ってもらう機会を作ろうと考えた。

【目的】

子ども達にとって身近な題材を用いて法やきまりが身近な存在であることを知ってもらう。

【概要】

日本国憲法や民法にかかわる内容のオリジナルストーリーを作成し、人形劇を通して、法やきまりに対する親しみや理解を深める。

【プロセスと成果】

前期は、前年度作成した民法の遺失物法の内容のシナリオをもとに人形劇の練習を行った。練習の際には以前本プロジェクトに参加していた先輩からのアドバイスを参考にし、子ども達にとって聞き取りやすい発音やスピードを意識することを心がけ劇のクオリティを向上させた。また、人形劇の発表を函館葛屋書店キッズパークで行った。途中の問いかけに応答してくれる子どももいたため、発表をスムーズに行う事ができた。

後期は、前期の活動の反省をもとに日本国憲法の教育を受ける権利をもとにシナリオを作成し小学校6年生に発表した。どうすれば少しでも良く伝えられるか、児童達は興味を示してくれるのかを意識して練習し、多くの児童が飽きずに発表を聞いてくれた。



【函館葛屋書店にて】



【函館市立万年橋小学校にて】

【総括と反省・今後の課題】

前期は、前年度からのシナリオや小道具等の引き継ぎをスムーズに行う事ができ、函館蔦屋書店キッズパークで発表を行う事ができた。また、昨年度のプロジェクトメンバーからの演技指導等の協力を得られたことにより計画よりも早い段階で発表する事ができた。後期は前期の反省をもとに新たなシナリオを作成した。これまでの民法を題材にしたシナリオから日本国憲法を題材に変更したが、メンバーが分担して作成することにより、効率よく作成することができた。

今後の課題として、シナリオの難易度調整を行う事が挙げられる。今年度作成したシナリオは、小学校高学年向けのものであり、公民分野を学んでいない低学年には難しい内容であると考え。今後も幼児や小学生へ向けて発表をする事が想定されるため、これまで作成してきた幼児向けのシナリオと今年度作成した高学年向けのシナリオの間に小学校低学年向けのシナリオを作成することにより、幅広い年齢層へのアプローチが可能になると考えられる。

最後に、来年度のプロジェクトメンバーへ今年度作成したシナリオや小道具を引き継ぎ活用してほしいと考える。また、今年度のプロジェクトメンバーが引き続きサポートを行う事で継続性のある地域プロジェクトを作り上げていければ良いと考える。

【地域からの評価】

本地域プロジェクトを行うに当たって、場所の提供や時間の確保をしていただいた、函館蔦屋書店様や函館市立万年橋小学校のご協力のもと、地域の子ども達や児童に発表することができた。ありがとうございました。

また、函館蔦屋書店での発表の感想として「楽しめる良い劇だった」と話してくれる保護者がいた。小学校の児童からは「人形劇を通して昔と今の学校の違いがよく分かった」「学校について色々なこと教えてもらって人形劇によって内容が入りやすかった」などというアンケート評価を得られることができた。

【その他】

年間スケジュール

前期	4月	テーマ決め・人形劇練習
	5月27日	第1回発表(函館蔦屋書店)
	6月	ふり返り・中間報告資料作成
	7月	地域プロジェクト中間報告会
後期	10月	テーマ決め・シナリオ、小道具作成
	11月	発表練習
	12月11日	第2回発表 (函館市立万年橋小学校) ふり返り
	1月	成果報告会準備 地域プロジェクト成果報告会 参加